

授業科目名(英文名)bbb / Course title	環境産業特論		
担当教員(所属) / Instructor	龍 世祥(経済学部経済学科)		
授業科目区分 / Category	専門教育科目 グローバルSDGs専門科目		
地域課題解決型人材育成プログラム科目 / COC+Course	-	授業種別 / Type of class	講義科目
開講学期曜限 / Period	2022年度 / Academic Year 第2ターム / Term 2 火/Tue 6	対象所属 / Eligible Faculty	持続可能社会創成学環(修士課程) 持続可能社会創成学環(修士課程) グローバルSDGsプログラム / Graduate School of Sustainability Studies Graduate School of Sustainability Studies Graduate Program in Global Sustainability Science
時間割コード / Registration Code	D43313	対象学年 / Eligible grade	1年 ,2年 単位数 / Credits 1単位
ナンバリングコード / Numbering Code			
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	龍 世祥(経済学部411研究室 電話: 6433(内) mail: longshix@eco.u-toyama.ac.jp)		
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours	龍 世祥(メール、あるいはMOODLEで事前連絡してから訪問すること。)		
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code			
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor			
MoodleコースURL / Moodle course URL			
各種教育プログラム1 / Various Educational programs1			
各種教育プログラム2 / Various Educational programs2			
各種教育プログラム3 / Various Educational programs3			
各種教育プログラム4 / Various Educational programs4			
各種教育プログラム5 / Various Educational programs5			
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日		
対面授業のみで実施			
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals		
21世紀は「環境革命」の世紀と言われる。その革命に当たる社会的行動としては、経済発展と自然保全の両立を目指す循環社会(地域)づくりが潮流となりつつある。その中、環境産業の拡大が特に注目すべき主流となっている。本講義は、環境産業を切り口にして、この画期的な時代潮流に要請された、環境経済・政策論に関連する基本的課題を受講生の専門志向に応じて選定し、その整理と解明を実証と論証の両側面から深めたい。 カリキュラム上では、本講義は、環境経済学と産業経済学、循環社会論と産業構造論などが基礎専門理論となる応用的専門科目と位置づけられる。			
達成目標 / Course Goals			
1. 環境産業理論を体系的に理解する。 2. 環境産業を導入した産業連関分析の手法を理解する。			
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule			

初回目：授業の計画、目標、教科書、参考書とその他の参考文献の選定などについての説明と相談
 2-7回目：下記の課題研究に必要な環境経済学、産業経済学などに関する専門知識学術文献を解説、議論する。
 最終回は、課題研究のレポートテーマの解題報告と執筆要項の説明

- 課題1．人間と自然と統合した視点から見た産業一般と環境産業およびその理論体系。
- 課題2．産業構造変動の要因体系における人間的要因と自然的要因の位置づけ。
- 課題3．消費者の環境欲望、エコ消費と環境産業。
- 課題4．生産者の社会責任、エコ経営と環境産業。
- 課題5．環境産業の内部構造とその拡大。
- 課題6．環境産業からみた環境政策と産業政策。
- 課題7．環境産業因子を導入した産業連関モデルの開発。
- 課題8．環境産業の国際展開を中心とする雁行型産業発展モデルのエコ化。

授業時間外学修（事前・事後学修） / Independent Study Outside of Class

レポートを準備して、質問を用意して授業に臨むこと
 （3時間）

キーワード / Keywords	産業連関 環境産業 産業構造 循環社会
履修上の注意 / Notices	環境経済学に必要な経済原論の基礎と産業連関分析に必要な数学知識の習得は受講与件である。
教科書 / Required Text	
参考書 / Required Materials	
教科書・参考書に関するその他通信欄	履修希望者の専門と関心に配慮した授業計画の調整を行なう上、相談して決める。
成績評価の方法 / Evaluation	受講姿勢（50%）とレポートの完成度（50%）などで評価する。
関連科目 / Related course	
リンク先URL / URL of syllabus or other information	
備考 / Notes	